

令和7年度

市政方針

川越市長 森田初恵

本日ここに、令和7年第1回定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様のお出席をいただき、開会されましたことは、市政発展のため誠に嬉しい限りでございます。

本定例会の開会に当たりまして、私の市政運営の方針及び予算の概要について御説明を申し上げます。

この度、私は、川合善明前市長の勇退を受け、先般の市長選挙におきまして、市民の皆様のお信任を賜り、第31代川越市長に就任いたしました。

川合前市長は、4期16年にわたり市政発展のため御尽力され、子育て・教育環境の充実、都市基盤整備、新型コロナウイルス感染症への対応など、幾多の業績を残されてこられたことに、敬意を表する次第であります。

川合前市長の後を受け、私は、歴史と伝統ある川越の未来のため、その与えられた使命と責任の重さを実感し、身の引き締まる思いでございます。

私は、川越の小ヶ谷地区で生まれ育ち、裁判官になるまで川越の地で生活をしておりました。裁判官となり、全国各地で勤務し

た後、さいたま地裁での勤務をきっかけに、再び、自分にとって大切な川越に戻ることができました。

裁判官生活15年の中で、民事、刑事、家事、少年などの事件を扱わせていただきましたが、孤立や貧困、こどもの成育環境の問題などを理由とする事件により、引き起こされてしまった多くの不幸に、とても心を痛めました。

私は、裁判官として事件が起きた様々な背景を知る中で、孤立や貧困などを理由とする不幸のない世の中を作っていきたい、そのためには、既に起きた事件の解決ではなく、医療や介護、福祉、教育などを充実させ、生まれ育った大好きな川越で、未来へ希望が広がるまちをつくっていきたい、そのような思いを強く持ち、川越市長への転身を決意いたしました。

過日の選挙におきまして、川越市内の各所に赴き、市民の皆様の声をお聞きいたしました。物価上昇による生活の不安、事業経営における人手不足、高齢を原因とする移動手段の確保の困難さなど、市民の皆様が、日頃から感じられているお気持ちや課題などを肌で感じさせていただいたところでございます。

このような、市民の皆様のお気持ちや課題をしっかりと心に留

め、未来へ希望が広がる川越のまちをつくるため、今、川越にとって何が必要なのかを熟慮しながら、「ゆたかで安心できるまち」の実現に、情熱を燃やし、全力を尽くしてまいる決意でございます。

議員各位におかれましては、今後の市政運営に対し、格別なる御支援と御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

次に、市政運営の基本的な考え方でございます。

今後の更なる少子高齢化の進行や、人口減少が見込まれる中、川越が持続可能なまちであり続けるためには、川越の持つ魅力を高め、市民の皆様が安心して生活できるまちづくりを進めていかなければなりません。

私は、市民の皆様のご意見にまっすぐ向き合い、現場第一主義で市内各所を見て回り、市民の共有財産である市の情報を積極的に発信すること、「聴く」「見る」「話す」を基本姿勢として、「みんなで作るゆたかで安心できるまち」の実現に向け、取り組んでまいります。

その実現に当たりましては、「川越が動く」をキーワードとし

て、私が公約で掲げました5つの柱を中心に、施策を推進してまいります。

1つ目の柱は、「子育てが動く」でございます。こどもが健やかに成長できる環境を充実させるため、保育環境の整備、地域でこどもを支える環境づくり、こどもの貧困対策などに取り組んでまいります。

2つ目の柱は、「教育が動く」でございます。こどもが安心して小中学校に通い学べるよう、学校給食費の無償化、個性に応じた教育体制の整備、教育の充実などに取り組んでまいります。

3つ目の柱は、「経済・財政が動く」でございます。地域経済の活性化と税収増を目指し、民間活力の導入、企業誘致、農業支援、行財政改革などに取り組んでまいります。

4つ目の柱は、「くらしが動く」でございます。地域で安心して健康に暮らせるよう、一人暮らしの高齢者が安心して住み続けられる地域社会の実現、道路や街灯の整備や管理、スポーツ環境整備などに取り組むほか、女性や障害者の労働環境を改善するための企業支援などにも取り組んでまいります。

5つ目の柱は、「市民の安心・安全へ動く」でございます。市

民の命を守るため、防災・減災の推進や医療体制の充実などに取り組むほか、良好な住環境を築いていくため、空き家対策などに取り組んでまいります。

さて、本日提出させていただきました、令和7年度予算につきましては、私の市政運営の初めてとなる予算でございます。

公約として市民の皆様にお約束した施策を予算案として提出すべきところではございますが、市長就任から間もない状況にございます。このため、本予算を、義務的な事業や継続事業のほか、地域経済と市民の皆様の暮らしを切れ目なく支えるため、年度当初から対応すべき事業に要する経費を計上した予算と位置づけ、本会議に提出させていただくことといたしました。

私が、市民の皆様にも、公約としてお示しした施策につきましては、実施方法や実施時期などの具体的な検討を進め、順次、予算案として提案させていただきたいと考えております。

続いて、令和7年度予算の概要について申し上げます。

令和7年度予算では、雇用・所得環境が改善する下で景気が緩

やかに回復する中、歳入の根幹をなす市税収入については、給与所得や企業収益の伸びとともに、国の定額減税が終了することの影響により増額を見込みました。

令和7年度の一般会計の予算規模は1,369億7,000万円でございます。また、特別会計の予算規模は901億257万円で、一般会計と合わせた予算規模は2,270億7,257万円でございます。

次に、令和7年度予算案のうち、主要事業の主なものを予算科目別に御説明申し上げます。

まず、総務費につきましては、自治体情報システムの標準化、ふるさと納税、北部市街地交通対策、仮称宮元町多目的グラウンドの整備、市民センターの建設工事などの費用を計上しております。

次に、民生費につきましては、こどもの学習支援、公立保育園の更新及び改修工事、みよしの支援センターの集約化、生活習慣病の重症化やフレイルの予防などの費用を計上しております。

次に、衛生費につきましては、帯状疱疹ワクチンなどの予防接種、がん検診、妊婦のための支援給付、仮称汚泥再生処理センタ

一整備などの費用を計上しております。

次に、農林水産業費につきましては、グリーンツーリズム整備推進として、キャンプスペースの開設準備に向けた費用などを計上しております。

次に、商工費につきましては、オーバーツーリズム対策、川越まつり、企業誘致に向けた経済波及効果等の調査、空き店舗や商店街に対する補助金などの費用を計上しております。

次に、土木費につきましては、なぐわし公園整備、仮称新宿町1丁目広場防災施設等整備、南古谷駅周辺地区整備、川越所沢線等整備、広域幹線道路整備、橋りょうの補修及び耐震補強工事、準用河川整備、中小河川排水路整備などの費用を計上しております。

次に、消防費につきましては、被災者生活再建支援システムの導入などの費用を計上しております。

最後に、教育費につきましては、小中学校の体育館空調設備等整備、市立川越高等学校のトイレ改修工事及び体育館の空調設備整備、学童保育室の改修工事、小学校の水泳指導業務委託、中央図書館の外部等改修工事、蔵造り資料館の耐震化工事などの費用

を計上しております。

以上が私の市政運営の方針及び予算の概要でございます。

議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、
お願い申し上げます。